

## 第2部 兵庫の特性と潮流変化

第2部では、兵庫の将来像を描くための基本的事項として本県をとりまく状況を明らかにするため、これからの地域づくりに生かすべき本県の特徴や魅力を整理するとともに、客観的な長期予測やビジョン策定後顕著となった新たな動向を踏まえた時代潮流を示す。

### 1 兵庫の特性

兵庫県は、かつての摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の5つの国からなり、これらの地域が織りなす多様性は日本の縮図と称される。

自然景観や食材、歴史文化や伝統芸能などの魅力にあふれた日本海側や中山間地域。都市住民の心のふるさととなる暮らしの魅力、世界最先端の科学技術や産業が息づく瀬戸内海の臨海地域。その多様性が織りなす地域の多彩な顔が兵庫の特徴である。

また、長い歴史の中で、それぞれの地域で多彩な人々が営みを重ね、あるいは明治期の神戸開港以来、世界に開かれた窓口として多様な外国人と文化を受け入れ、わが国の文化、暮らしを先導するとともに、ふるさとを育み、日本を変えてきた地域でもある。

さらに、阪神・淡路大震災を経験し、その復興過程で生じた課題の多くは、将来日本が直面する課題が先行して表出したものであったが、防災をはじめ数多くの先導的な取組を行うことで、課題解決の技術を培い、国内外に発信してきた地域でもある。

こうした特徴、魅力を兵庫の強み・兵庫の基盤として捉え、ビジョン実現に向けた取組に大いに生かしていく。

#### (1) 多様で広大な県土に根づく地域資源

##### 多様で広大な県土

兵庫県は日本標準子午線が通過する日本のほぼ中心に位置し、県域が北は日本海、南は瀬戸内海・太平洋にまたがり、中央部には中国山地が東西に横たわるほか、高原、平野、島々など広大で変化に富んだ地形を有しており、他県にはない地理的特徴となっている。

その中には、世界との活発な交流が展開される都市部と豊かな自然や地域独自の歴史文化に恵まれた多自然地域が共存するほか、河川水系ごとに形成されてきた特色ある流域文化が存在することなど、多様で広大な県土を有している。

##### 多彩な地域資源、歴史、文化

本県は、世界文化遺産の姫路城をはじめ国宝などの歴史文化遺産を有し、淡路島の国生み伝説に始まり、古墳の数は全国1位、遺跡数も2位と考古学の宝庫でもある。また、山陰海岸ジオパークやたんば恐竜化石など、学術的にも価値の高い個性的な地域資源が地域の活性化の強みとなっている。農村歌舞伎の数の多さと県内各地で演じられる薪能、海外にも広く知られる淡路人形浄瑠璃など、地域の生活に根ざした伝統文化も各地で大切に継承されている。

また、西洋文化の影響を受けながら神戸・阪神間に育まれた近代的な芸術、文化、生活様式と時代の雰囲気は、阪神間モダニズムと呼ばれ、現在に至る日本の芸術や文化、教育、

娯楽、生活に多大な影響を与えている。

こうした各地域の人々の生活に根ざした多彩な地域資源、歴史、文化の厚みが未来の兵庫をつくる子どもたちへの大きな資産である。

#### 地域への強い愛着、誇り

多彩な魅力を持つ県土のもとに、それぞれの地域の住民が、その地域固有の資源を生かしたなりわいを持ち、営みを重ねてきた。そこには自ずと生まれ育った地域とその地域資源への誇りや感謝、愛着が生まれてくる。

県民主役・地域主導で描かれた21世紀兵庫長期ビジョンの地域ビジョンをみると、個性あるそれぞれの将来像を描いた県民の地域への愛着と誇りが実感される。また、住み続けたい県、愛着のある県に関する調査では、本県は全国でも上位となっており、こうした地域への強い思いが、これからの兵庫づくりの原動力となる。

### (2) 時代を先取りする進取の気性

#### 先駆的な社会事業家の輩出

キリスト教の宣教師たちが独自の教育を行う学校を各地に開設し、地域の経済人が私財を投ずるなど、本県では優れた人間教育が展開されてきた。多様な私学教育と歴史ある公立学校が国内外で活躍するさまざまな人材を育て、庶民が利用できる福祉的な幼稚園を全国で最初に開設した間人(はしうど)たね、周産期施設の病院を開設した三宅廉(れん)、神戸生活協同組合の創設者である賀川豊彦など消費者運動や労働運動の先駆者を輩出している。

阪神・淡路大震災の際、国内外から数多くのボランティアが駆けつけ、ボランティア元年とも呼ばれるのは、先駆的な地域活動の歴史の上に、そうした人たちと協働する地域の活動家たちがいてこそのものである。

#### 新しい社会を築く進取と自由の気風

坂本龍馬は、幕末の神戸海軍操練所と勝海舟の神戸海軍塾で塾頭を務めた経験を礎に、のちに長崎で海援隊を起こし、幕末の争乱の中を雄飛した。海軍塾には、活躍する諸藩の志士が集まり、自由闊達な気風と世界を相手にする気概にあふれていた。

進取と自由の気風は、大正時代に三井、三菱財閥に並ぶ企業グループとして国内外で事業を展開した鈴木商店、第二次大戦後の日米講和交渉などで活躍した白洲次郎、沿線の住宅地開発や宝塚歌劇、百貨店経営という私鉄経営のビジネスモデルをつくった阪急電鉄など、新たな発想で活動する人や企業を生み出してきた。

時代を切り拓き、社会問題に挑み、新しい社会を築く志の高い進取の人たちを生み育てた土壌の上に、成熟社会にふさわしい新たな兵庫の姿を築いていく。

### (3) 課題解決の技術の蓄積

近代都市を直撃した初めての大規模災害であった阪神・淡路大震災からの復興課題の多くは、将来わが国が直面する課題が先行して表出したものであり、本県では、その課題解決に向け、多くの先導的な取組を行ってきた。

こうした取組を経て培った防災の先進的な知恵は、復興の成果として、先導的な取組の定着に脈々と生かされている。東日本大震災の被災地支援においては、阪神・淡路大震災の経験から、関西広域連合の各構成府県が被災県を分担して支援する「カウンターパート方式」を提案し、効率的で息の長い支援の枠組として評価されている。

さらに、震災の経験と教訓をもとに防災に取り組む人と防災未来センターや自然災害からの復興を国際的に支援する国際防災復興協力機構、アジア防災センターなどの国際機関を通して、減災社会づくりに向けた知恵を全国、世界へと発信する安全・安心の拠点となっている。

#### (4) 地域づくりに向けた蓄積

本県では、阪神・淡路大震災で復興を支えた多くのボランティアの活躍から、ボランティアやNPO活動が広く県民に理解されており、現在、教育、国際交流、芸術文化、地域づくりといったさまざまな分野への広がりを見せながら、活動が活発に展開されている。

また、21世紀兵庫長期ビジョンを実現するため各県民局に設置された地域ビジョン委員会は、5期10年にわたる活動を重ねてきた。自治会などの地縁団体やNPO、地域づくりに意欲ある県民、企業など多様な主体が参画した実践活動により、さまざまな地域資源の評価がなされ、ビジョン実現に向けた地域での活動が拡大している。

#### (5) 人と自然の共生の先進地

本県では、明治期に地表が露出するほどに荒廃していた六甲山を長年の植樹により緑化したことに始まり、近年では淡路・灘山地区の土取り跡地において復元型急速緑化を行い、国営明石海峡公園など淡路島国際公園都市が整備された。

尼崎臨海部では、失ったかけがえのない自然を再生し、水と緑豊かな自然環境の創出による環境共生型のまちづくりを目指す尼崎21世紀の森構想のもと、市民、企業、学識者、行政などあらゆる主体の参画と協働による先導的な森づくり・まちづくりが進められている。

また、但馬地域を中心とするコウノトリの野生復帰の取組は、コウノトリと共生できる環境が人にとっても安全で安心できる環境であるとの基本的な視点に立っている。コウノトリ野生復帰の研究成果の発信、広く県民に開かれた自然観察や体験学習の提供など、人と自然の共生できる環境の創造に向けた取組は、アジアをはじめ海外からも注目を受けている。

豊かな自然環境を再生し、人と自然が共生できる環境をつくるこれらの取組は、日本の縮図・兵庫から全国へ発信しうる先導モデルとなっている。

#### (6) 多様な産業活動の展開

ものづくり産業をはじめとする多様な産業の集積

瀬戸内海臨海部には、阪神工業地帯から播磨工業地帯に至る全国有数の工業地帯が形成され、鉄鋼、機械など、明治期の近代化と戦後の高度成長を支えてきた基幹産業が集積している。その中でも、ものづくりの根幹を担う金型、切削、鍛造、表面処理などの基盤技術的産業が裾野を広げる形で存在している。

ものづくりの基盤として、発電に使用するタービン発電機、新幹線の車両製作、二次電池やソーラーパネルなどの創エネ・蓄エネ技術といった世界有数の技術力を誇るほか、世

界で活躍する小さな世界的企業が数多く存在するなど、確かな技術が県内の企業に継承されている。

また、大消費地の近接性を生かした食品やファッション関連企業、外国・外資系企業など多様な産業が集積している。

#### 多様性に富む地域に根ざした産業

高い技術力を持つものづくりの伝統産業が地域に根づいている。三木の金物、豊岡の鞆、西脇の播州織などのほか、生活と結びついたものづくりの伝統が連綿と受け継がれている。

そのほか、牛肉、黒大豆、のりなどの農林水産品、清酒、真珠、ケミカルシューズなどの特色ある地場産業や生活関連産業が存在し、全国や海外に通用するブランドも多く、地域に根ざした産業が息づいている。

さらに、観光ツーリズムの面では、神戸の街、姫路城、多くの温泉など、多彩な景観や自然、歴史、伝統、芸術・文化などの豊富な地域資源に加えて、体験・学習・交流など魅力的なツーリズムメニューが存在している。

#### 知的基盤の充実

本県では、大型放射光施設SPring-8に加え、国家基幹技術であるX線自由電子レーザー施設SACLAの供用が始まる播磨科学公園都市や、産学官連携により医療関連産業の集積を図る神戸医療産業都市、国家基幹技術として整備が進む京速コンピュータ「京」など、先駆的なプロジェクトが進展している。充実した知的基盤と蓄積された産業ポテンシャルとが融合する中から、次代を支えるナノテクノロジー、先端医療、ロボット、環境・エネルギーなどの新しい技術が兵庫から世界へと発信されている。

### (7) 充実した生活安心基盤

兵庫県では、快適な生活環境の創出をめざして安定した水資源やエネルギーの確保、身近に親しめる公園整備などとともに、総合的な生活排水処理対策に取り組み、高い整備水準を達成している。阪神・淡路大震災の教訓を踏まえた耐震化に取り組みとともに、住宅及び建築物のバリアフリー化、鉄道駅舎へのエレベーター整備促進などが積極的に進み、障害をもつ人はもちろんすべての人に配慮した安全な福祉のまちづくりも進められている。

また、健康で生きがいをもって安心した生活を送ることができるよう、小児、周産期、救急などの高度専門医療を充実するための県立病院の整備、高齢者福祉施設の整備などにみられるように保健・医療・福祉に関する基盤整備の充実も図られている。

さらに、真の豊かさが実現できるライフスタイルの創造に向けた県民の主体的な活動を支援する拠点となる生活創造センターなどが整備されている。また、防災面においては、通常はスポーツ、レクリエーションの拠点に、災害時には広域防災拠点となる三木総合防災公園などの防災拠点の充実も図られている。

これらの生活関連の社会基盤や関連するサービスが有効に活用されることによって、県民が安心して暮らせる環境が創り出されることが期待される。

## (8) 多彩で充実した社会資本

### 広域交通ネットワークの要所

経済・社会活動を支える基礎的な社会資本である道路は、東西三軸、南北三軸からなる高速道六基幹軸の整備が進み、高規格幹線道路などの供用延長は約660kmとなり、高速道路ネットワークがより充実しつつある。

また、関西、大阪、神戸、但馬の各空港、神戸港、姫路港、尼崎西宮芦屋港、東播磨港などの国際貿易港から地域社会を支える地方港湾まで多様な港湾を有するほか、JRや私鉄などの鉄道網が整備されているなど、全国有数の広域交通基盤を生かし、全国や世界との交流を拡大する条件が整いつつある。

### 豊富なスポーツ・交流施設

甲子園球場をはじめとするスポーツ拠点施設や陸上競技場、ゴルフ場など各種スポーツ施設、いえしま自然体験センターなどの野外教育施設や但馬ドームなどのCSR施設に代表されるように、豊かな自然の中で野外活動や交流活動の展開を支援するためのさまざまな施設が整備され、県民のさまざまな活動の場となっている。

### 多彩な教育文化機関

国際色豊かで洗練された都市文化に支えられ、公立、私立による多彩な美術館、博物館、特色ある私立学校をはじめ、教育機関が多数立地しており、県立大学など特色ある国公立大学の数も全国上位であるなど高い水準の知的基盤が整っている。

また、個性豊かな高など教育や県内大学が連携した取組、県民の生涯を通じた高い学習意欲に応える生涯学習施設での活動など、多彩な教育・学習が展開されている。

今後もこうした広域交通網や交流拠点、教育文化機関などの社会基盤を有効に使いこなしていくことで、交流が拡大し、県域全体が県民の豊かな生活を実現する舞台となっていくことが期待される。